



2019年 1月発行

有田市社会福祉協議会  
ホームページはこちら



小学校6年生児童代表が  
毎号将来の夢を発信！



10年後、成長した姿を  
地域の皆さんに発信します！

# ありだし社協だより

## 「将来の夢」

系我小学校6年生



田鶴小学校6年生



明けましておめでとうございます。

本年も地域のみなさまとともに、福祉向上を目指し歩んでまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

みなさまにとって、幸多き一年となりますように。

次号は、

宮原小学校から

「夢」発信！



社協だよりは、「赤い羽根共同募金」配分金の一部で発行させていただいています。



会長 森川 文夫

あけましておめでとうございます。

昨年は、西日本豪雨、北海道胆振大地震と自然災害の猛威に翻弄され、人間の力の小ささを思い知らされました。有田市でも台風 21 号により大きな被害を受けました。被災された皆様にお見舞い申し上げます。

本会においても西日本豪雨の被災地へ職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援にあたりました。猛暑の中でしたが、少しでも復興に役立っていれば幸いです。また、自然災害に怯えるばかりではなく、十分に備えた上で普段の生活を楽しむことが大切だと学んだ機会でもありました。

社会福祉協議会は、たくさんの組織や人々の協力を得て活動しています。個人・団体・企業ボランティアとして活動される皆様は、災害時以外にも地域を支える大きな力となっています。各分野でご活躍さ

れているボランティアの皆様方に、心よりお礼申し上げます。

本会では、子どもたちが地域に目を向け、地域課題に関心を持つこと、また多世代間の交流の中で相互理解を深めることなどを通して、疎遠になりがちな地域のつながりづくりを目指しています。世代を超えた交流が地域力の向上に役立てれば楽しいですね。小学校から大学まで多くの学校と共に活動し、笑顔の輪が大きくなったと嬉しく感じています。

また、本会が主催する地域福祉ネットワーク会議から生まれた『AGALA』は、1階では一般社団法人が障害のある方が働くカフェを運営されており、本会が提供する2階の交流スペースと合わせて、地域交流の場として皆様にご利用いただいています。

福祉の仕事には派手さはありませんが、小さな仕事を大切に、大きな希望をお届けできるよう努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとって素晴らしい年でありますようお祈り申し上げます。

# 災害VC運営支援派遣報告

有田市社会福祉協議会では昨年8月、「平成30年7月豪雨」により被災した岡山県倉敷市へ、災害ボランティアセンター（以下VC）の運営支援のため職員を派遣しました。（以下、本会 Facebook 記事より再編集）

「倉敷市災害VC・やたサテライト」に、車両班スタッフとして配属されました。災害VCは、社協や行政だけでなく、様々な団体や地元のボランティアさんの協力を得て運営されており、やたサテライト車両班にも地元の運営ボランティアさんが来てくれていました。車両班では、災害ボランティアの送迎や資材運搬の車両の手配、地図を見て活動場所の説明などをしますが、土地勘のない他県からの派遣スタッフだけではなかなか大変です。そんな中、地元で詳しい運営ボランティアさんの力は非常に頼りになりました。

地理に不慣れな職員が資材運搬を依頼すれば、地図がなくてもサツと届けてくれる方。活動先のお名前を伝えれば、地図を指して「ここじゃ」とすぐに教えてくれる方。夏休みに何度も来てくれている中高生姉妹は新人スタッフよりも車両班の経験があり、車両班を2人に任せてスタッフは他の人手不足の部署に回ることができました。



災害ボランティアへのオリエンテーション

このように、災害VCの運営にはボランティアさんの力が欠かせません。地元の運営ボランティアさんの力はとても大きく、非常に心強い存在です。有田市でも、災害時には地域のみなさんの大きな力に期待しています。

## 心配ごと相談のご案内

お話しをお聴きして、必要な情報の提供、関係機関の紹介、調整などをします。ご希望があれば、相談員(民生委員)による対面相談も可能です。なんでもご相談ください。

相談窓口：電話 88-2750  
受付日時：平日（年末年始のぞく）  
8:30~17:15

## 受賞おめでとうございます

### 和歌山県社会福祉功労者表彰

県知事感謝状

民生委員・児童委員功労者

北野 音弘 様

県社会福祉協議会会長表彰

民生委員・児童委員功労者

西中 教高 様

社会福祉協議会役員、職員功労者

木原 見千子 様

### 紀の国チャレンジド賞（知事賞）

自立更生者賞

木下 康子 様

## 善意銀行だより

「社会福祉に役立ててください」と次の方々から総額809,898円の善意のご寄付をいただきました。(平成29年12月1日～平成30年11月末日現在)

### 社会福祉全般へ

- ・初島幼稚園  
こども達のクリスマス献金
- ・平成29年度 箕島小学校4年生
- ・ganbaruman65
- ・阪本・野上保険事務所株式会社
- ・子どもボランティアグループ  
歌☆キッズ

- ・浦野泰二郎
- ・音知倶楽部
- ・宮原小学校6年生
- ・わかば会
- ・紀の国山草会
- ・上野山トヨコ
- ・宮原連合自治会
- ・有田市民生児童委員協議会

- ・山崎きみ

### NPO法人さくらんぼへ

- ・宮本有陽

### AGALA食堂へ

- ・深山和宏

(順不同、敬称略)

以上の方々のほか匿名を希望される皆様からも預託をいただきました。寄付金につきましては、地域福祉活動の推進に使用させていただきます。ありがとうございました。

## 寄付つき商品事業「JUST」 寄付金だより

本会と覚書を締結した企業から、寄付つき商品の販売によるご寄付をいただきました。寄せられた寄付金は地域福祉課題解決のための財源として使わせていただきます。誠にありがとうございました。(平成29年12月1日～平成30年11月末日現在)

- ・有田キセキ商会
- ・森川鉄工所
- ・株式会社紀州有田蒲鉾

- ・古川工務店
- ・有限会社シマウメ
- ・株式会社KL

- ・株式会社中紀バス観光社
  - ・足と身体の健康工房
- (順不同、敬称略)



## 平成30年度社会福祉協議会会費について

8月よりお願いいたしました平成30年度社会福祉協議会会費(法人・個人)に、11月末日現在、総額2,503,703円をいただき誠にありがとうございました。

納入していただいた会費につきましては、心配ごと相談事業、福祉サービス利用援助事業、ボランティア育成などに使用させていただきます。

今後もより充実したサービスを提供できるよう努力いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

また、社会福祉協議会会費の募集にあたり、各連合自治会長様をはじめ役員の皆様方に多大なるご理解とお力添えをいただき、ここに厚くお礼を申し上げます。

なお、賛助会費として下記の皆様から温かいご協力を賜りました。

- ・河原貴博司法書士・行政書士事務所
- ・株式会社富山保険事務所
- ・医療法人共立ハートクリニック
- ・有限会社久保コンピューターセンター
- ・逢井八角網漁業生産組合
- ・株式会社ありだ住宅情報センター
- ・有田自動車整備協同組合
- ・有限会社あんしんサポート
- ・株式会社エデュケーションリンクス
- ・株式会社近畿コンサルタント
- ・有田生コンクリート産業株式会社
- ・ライオンケミカル株式会社
- ・大日本除虫菊株式会社紀州工場
- ・株式会社紀和

- ・有田食品株式会社
- ・川口水産株式会社
- ・株式会社橘家
- ・有限会社宮原自動車
- ・株式会社保田組
- ・有限会社ボウキョウ
- ・有限会社岩田自動車
- ・日本生命保険相互会社
- ・有限会社協和土木
- ・株式会社桑原工務店
- ・和協会
- ・オズ株式会社
- ・株式会社ユニワールド
- ・株式会社早和果樹園

- ・株式会社森商店
- ・有限会社シマウメ
- ・東亜ドラム油業株式会社
- ・アコモ株式会社
- ・有田交通株式会社
- ・有限会社雑賀組
- ・株式会社あすなろ
- ・紀州有田商工会議所
- ・三菱電線工業株式会社
- ・エム141地所
- ・紀伊国屋工業株式会社
- ・株式会社宮本商店

(順不同、敬称略)

# 社協 あまね 介護マメ知識

皆さんこんにちは。有田市社協のケアマネージャーです。本格的に寒くなってきましたが、風邪などひいていませんか？ 体調には十分気をつけて下さいね。

## 今回のテーマ 入退院時のサービス調整

私達ケアマネが担当させて頂いている利用者さんは、体調を崩し入院される事もしばしばです。ケアマネは入院中の利用者さんの状況を把握し、主治医・看護師・リハビリ担当者等と連携し退院後の生活がスムーズに送れるよう、様々な調整を行います。こんな時頼りになるのが、**病棟の看護師さんや退院支援のスタッフの方々**です。

支援スタッフの方たちは、担当ケアマネに利用者さんの現在の状況や、退院の見通し、本人やご家族の生活に対する意向など様々な情報を提供してくれます。事前の準備のためにも、私達ケアマネにとって欠かせない存在です。

また、入院を機に新たに介護が必要になった方には介護申請の相談にも乗って頂けます。退院後の生活に不安を感じている利用者さんやご家族にとっても心強い味方です。

## ケアマネからの おねがい

退院後の生活がスムーズにスタートできるように、入院時、利用者さんやご家族は「担当ケアマネは〇〇事業所の〇〇さん」と病院にお伝えください。ご協力よろしく願います。

# 箕島高校情報経営科3年生 地域ローラー作戦 有田市で暮らす高齢者にインタビューを重ねました！



最後の訪問先にて記念撮影

箕島高校の「課題研究授業」を使い、毎週のように高校生が地域のお宅へ訪問(計6軒)、各老人クラブ・民生児童委員、公民館、中紀バス(株)、デイサービスへ聞き取りに回りました。70～90代の方々から、昔の暮らしぶりや戦時中のご苦労、南海地震、7.18水害、箕島の全盛期の様子、商売についてなど、十人十色の人生を聞かせていただきました。

買い物や通院といった移動の不便さ、デマンドバスの使われ方、災害時の備え、生きがいや役割意識などをお聞きし、高校生の目線で有田市に対して政策提言を行う予定です(下段フォーラム案内参照)。訪問の様子は、本会公式ブログの『社協ワーカーが見た「人・もの・まち」』で各回報告しています。

訪問先で高校生に求めるものをお聞きすると、「まじめに」「親切に」「しっかり勉強して」「地元に戻ってきて」「外へ出て大成して」と、そこにもまた人それぞれの想いを感じました。

## 地域共創フォーラム 2018

～多世代で考える有田市の支え合い～

平成31年 2月17日(日)  
13時30分～15時30分  
有田市文化福祉センター

共に  
創る

- 講演 摂南大学 上野山裕士氏  
「これからの地域に求められるもの」
- 地域住民×地域包括支援センター コラボ劇
- 福祉の芽小中学生作文コンクール受賞者朗読
- 箕島高校生による政策提言
- 有田市長と高校生・住民・専門職による  
パネルディスカッション  
～よりよい有田市を目指してできること～

総合司会 和歌山大学観光学部 有田市 LIP

主催 有田市 共催 有田市社協 協力 箕島高校・さわやか福祉財団



## 笑顔あふれる子どもカフェ2018 11月2日、3日に開催しました

今年度も宮原小学校6年生ががんばりました。  
たくさんのご来店、ありがとうございました！

